

ナラ枯れかも！！ 情報提供にご協力ください

北海道では、現在ナラ枯れ被害は発生していませんが、令和2年に、ナラ枯れを媒介するカシノナガキクイムシの生息が、初めて確認されました。
本州ではナラ枯れ発生地域が拡大しており、青森県でも被害発生地域が北上しています。

ナラ枯れとは

カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」）が持ち運ぶ病原菌（以下「ナラ菌」）により、ミズナラやカシワなどのナラ類が枯死する伝染病です。



▲青森県の被害地（赤く枯れる）



体長：約5mm

▲カシノナガキクイムシ（左：オス 右：メス）

ナラ枯れの仕組み

6～8月

枯れたナラからカシナガの新成虫が飛び出していく。

6～8月

カシナガが健全なナラに飛来し幹に侵入する。

8～9月

ナラ菌の作用により、導管が目詰まりし、通水障害が起きる。
この結果、しおれ始め、1～2週間で急激に枯れる。

7～8月

集合フェロモンにより多数のカシナガが集中的に幹に侵入し、産卵する。
このとき、ナラ枯れの原因となる病原菌のナラ菌を持ち込む。

北海道で被害発生の可能性のある樹種

ミズナラ、カシワ、コナラ、クリ

※大径木の多い森林で発生することが多く、特にミズナラで被害が激甚となりやすい。

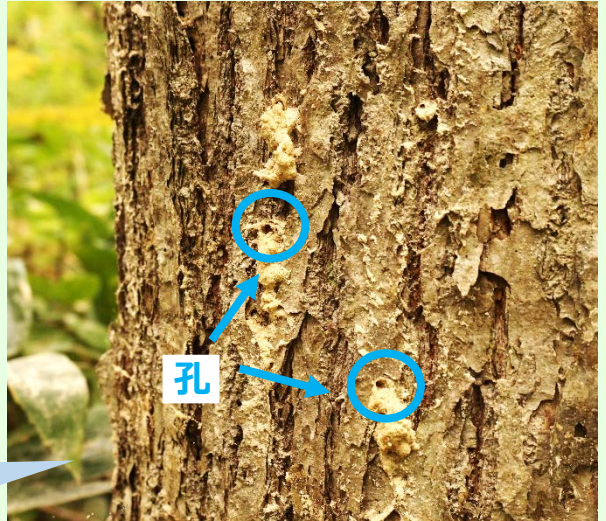
ナラ枯れの見分け方

8～9月に葉が赤褐色に変色し、枯れる（大径木に多い）

幹の根元にフラス（木くずと虫糞が混じった粉状のもの）が堆積している



幹に直径1.5mm～2.0mmの孔が多数ある



ナラ枯れ被害木を放置すると、翌年にそこから大量のカシナガの新成虫が飛び出し、周囲のナラを枯らすおそれがあります。

ナラ枯れを発見したら

道南地域でナラ枯れの疑いのある木を見かけたら、
最寄りの（総合）振興局までご連絡をお願いします。

渡島総合振興局産業振興部林務課
TEL：0138-47-9472

渡島総合振興局西部森林室普及課
TEL：0139-42-2014

渡島総合振興局東部森林室普及課
TEL：0138-83-7302

檜山振興局産業振興部林務課
TEL：0139-52-6541

檜山振興局森林室
TEL：0139-52-1309

檜山振興局森林室北檜山事務所
TEL：0137-84-4526

＜写真提供元：北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場＞

発行：令和2年12月 北海道水産林務部林務局森林整備課